



奈良県で国内16例目の高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜を確認 (五條市・採卵鶏農場)

所在地：奈良県 五條市

飼養状況：採卵鶏 (約8万3千羽)

経緯：12月5日(土)奈良県は死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛の要請をするとともに農場へ立ち入り検査を実施。当該鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し陽性を確認。12月6日(日)、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。



広島県で国内17例目の高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜を確認 (三原市・採卵鶏農場)

所在地：広島県 三原市

飼養状況：採卵鶏 (約8万1千羽)

疫学関連農場：採卵鶏 (約5万3千羽)

経緯：12月6日(日)当該農場において死亡鶏が増加した旨の通報を受け、立入検査を実施。当該農場にてインフルエンザ簡易検査を実施したところ、陽性を確認。12月7日(月)遺伝子検査の結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。また疫学的関連が確認された三原市の1農場についても防疫指針に基づき疑似患畜であることを確認。



岡山県の死亡野鳥における A型鳥インフルエンザ簡易検査陽性について

岡山県小田郡矢掛町で、12月4日(金)にハヤブサ1羽の死亡個体が回収され、簡易検査を実施したところA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出た旨の報告がありました。

この報告を受け、回収地点の周囲10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。

今後、鳥取大学において高病原性鳥インフルエンザウイルスの確定検査を実施予定。

高病原性鳥インフルエンザ防疫のため、以下の徹底をお願いします！

- ★衛生管理区域の出入口における車両、人、物の消毒の徹底
- ★衛生管理区域内における長靴、手指の消毒
- ★鶏舎専用の長靴の使用
- ★扉やカーテンを開放していないか、防鳥ネットや鶏舎の壁、天井に破損や隙間はないか確認・破損があれば直ちに修繕
- ★死亡率の増加や特定症状等、異常が見られた場合の早期発見・早期通報